



黒豆の声

娘を出産した時

おっぱいを飲ませるたびに涙がでた
なんて愛おしいのだろう、と
こんなに、こんなに、大切なんだと

私は生母から捨てられた経過の中で
自分なんて生まれてこなければよかったと
感じた時期がある
自己肯定感なんて持てなかった時期がある
自暴自棄になった時期がある

そんな時助けられた言葉がある

「親にしがらむな

親に振り回されるな

自分の人生は自分のもの」

「自分で良い

自分が良い」

憲法と人権との出会い

こんな大切な我が子を捨てなければならない生母に思いをはせることができた

必死でもがく私を心配してくれる人

励まし助けてくれる人

たくさんの方のおかげで今がある

♪生きてるだけで丸もうけ

そんな社会をつくろうよ♪

仲間と一緒に歌っている一節

産まってきた大切な命

その人だけの尊い人生

たった一つの命

一度きりの人生

全うできる社会をつくろう

だから私は命にこだわる

こだわり続ける

笑顔があふれるように

私が私で

あなたがあなたで居られるように

黒川小学校の廃校、
黒川公民館の廃館が決つ
てしましました。



風薫る1日

昔の黒川小学校を見学

新緑薫る5月24日、私(黒田)は、地域の皆さんと3月議会で今年度の廃校が決まってしまった「黒川小学校(現黒川公民館)」の見学に出かけました。

グランドにあったプレハブの建物は既に撤去され、新しい「黒川・里山センター」の建設にむけて動いています。

黒川・里山センター建設費は、予算額1億2000万円としていましたが、資材の高騰で入札が不調に終わり、6月議会でプラス3000万円の補正予算が議案上程されています。



黒川小学校は、1873(明治6)年、正則小学校として開校(教員1、児童16)。その後、黒川尋常小学校として1892(明治25)年に

スタート。1945(昭和20)年に109名と一番生徒数が多かった時期を過ぎ、1977(昭和52)年4月より休校となっていました。その後、黒川公民館として現在に至ります。

現存する建物、北校舎は、1904(明治37)年8月25日、南校舎



里山や豊かな自然の拠点に

地元で開催された景観フォーラム(2015(平成27)年12月開催)でも、「南北一体で黒川の拠点として

市民からも請願書

6月議会に市民の方から「兵庫県の景観形成重要建造物に指定されている黒川小学校の北棟、南棟の両棟を、今後も川西市の重要な施設として維持管理してくださり」という請願書が提出されています。



明治6年の重要建造物、北・南棟とも残して

当時のままで残されている、

は1946(昭和21)年12月27日落成。北校舎は2009(平成21)年度に兵庫県「景観形成重要建造物」と指定されています。

築118年の北棟、南棟76年と思い出話に花が咲きました。
川西市は、今年度で黒川公民館の廃館も決めており、新設される「黒川・里山センター」と北・南棟の一括管理・運営を民間事業者の提案を受け指定管理するとしています。築118年の北棟は残すとしていますが、提案内容によれば築76年の南棟は壊倒もありとされています。

黒川・里山センターはならない、壊すのは一瞬だが、二棟と取り戻せない」「昭和21年建設していません。築118年の北棟は残すとしても十分残すに値する建造物だ、残すようにするべきだ」「はじめて来たけれど、周りの自然と共に素晴らしい環境。心が落ち着く。どちらの建物も活かしてほしい」「今、必要なのは、このような環境でこども達が育つことだ。大切にするべき」など参加者から感想が述べられていました。

私は(黒田)は、黒川公民館の歴史などの資料をお渡しし、参加者は、「この間、実施している「黒田みちのまちかど・カフェトーク」でも、この黒川・国崎の豊かな自然、季節を感じることの幸せ、自分たちの責任や役割で大切にしたい旨が語られていました。

教授が発言しているように、日本一の里棟の一括管理・運営を民間事業者の提案を受け指定管理するとします。築118年の北棟は残すとしていますが、提案内容によれば築76年の南棟は壊倒もありとされています。築118年の北棟は残すとしても十分残すに値する建造物だ、残すようにするべきだ」「はじめて來たけれど、周りの自然と共に素晴らしい環境。心が落ち着く。どちらの建物も活かしてほしい」「今、必要なのは、このような環境でこども達が育つことだ。大切にするべき」など参加者から感想が述べられていました。

懐かしい木の机
こどもの頃の思い出が沢山
豊かな自然、季節の移ろい
わいわい

